

“IT経営キャラバン隊”の設立と活動

(IT利活用・情報教育・人材育成を支援)

2006年12月6日

“IT経営キャラバン隊”事務局

組 織

☞ 組織形態

- 任意の団体として2006年11月6日に発足
- 会長は関隆明氏(ITCA会長)、副会長は篠原徹氏(日商常務理事)
- 理事会(発起人会)が意思決定機関、趣意に賛同する団体・企業を会員

☞ 理事(発起人)

- ITコーディネータ協会、OCP総合研究所、コンピュータソフトウェア著作権協会(ACCS)、全国建設産業団体連合会、全国地域情報化推進協会(APPLIC)、全国地域情報産業団体連合会(ANIA)、TKC全国会、日本商工会議所、日本テレワーク協会、ブロードバンドスクール協会、インテル、マイクロソフト

☞ 会員

- 各地域の商工経済団体及び業界団体、NPO法人、ITベンダーなどの企業
- 現在の会員:アイ・オー・データ機器、アッカ・ネットワークス、ウィルコム、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ、エプソンダイレクト、カリアック、シスコシステムズ、ソニー、TKC、日本電気、日本ヒューレット・パッカー、バッファロー、日立製作所、富士通、松下電器産業

☞ 後援(申請中)

- 経済産業省、厚生労働省、国土交通省、総務省、内閣府、文部科学省、等の行政機関、及び地方自治体
- IT経営応援隊ロゴを取得

* 省庁名は50音順で表記

活動の目的

～ ICT利活用の促進～

1. “IT経営”の実現による生産性の向上とテレワーク人口の倍増
2. 女性や高齢者、ニートやフリーター等の再チャレンジを可能とする人材育成プログラムの構築
3. ユビキタスネット社会の実現に向けた地域情報化の推進
4. 電子申告・電子申請・電子納税・電子入札・電子納品等の普及・推進
5. ICTの利活用促進による教育の高度化
6. 安心・安全なネット社会構築に向けた産官学全ての層での情報モラル教育の実践

具体的な活動内容

- A) “IT経営”の実践モデルの提示と社員力向上のためのIT実践セミナーの開催
- B) 再チャレンジ支援のための人材育成ツールの開発と提供
- C) 地方公共団体や企業のICT利活用に関する事例紹介
(地域情報プラットフォーム、公共アプリケーション、情報通信インフラ等)
- D) 電子申請 / 申告 / 納税 / 入札 / 納品等を通じた電子政府、電子自治体のデモンストレーション
- E) 教育分野でのICTの利活用モデルの提示と、先進教育機関の事例紹介
- F) 情報モラル教育のためのセミナーの開催

全国200箇所でICT利活用促進の啓発イベントを開催

屋外

キャラバンバス・テント



屋内

商工会議所セミナールーム



ハンズオン・セミナー
デモンストレーション



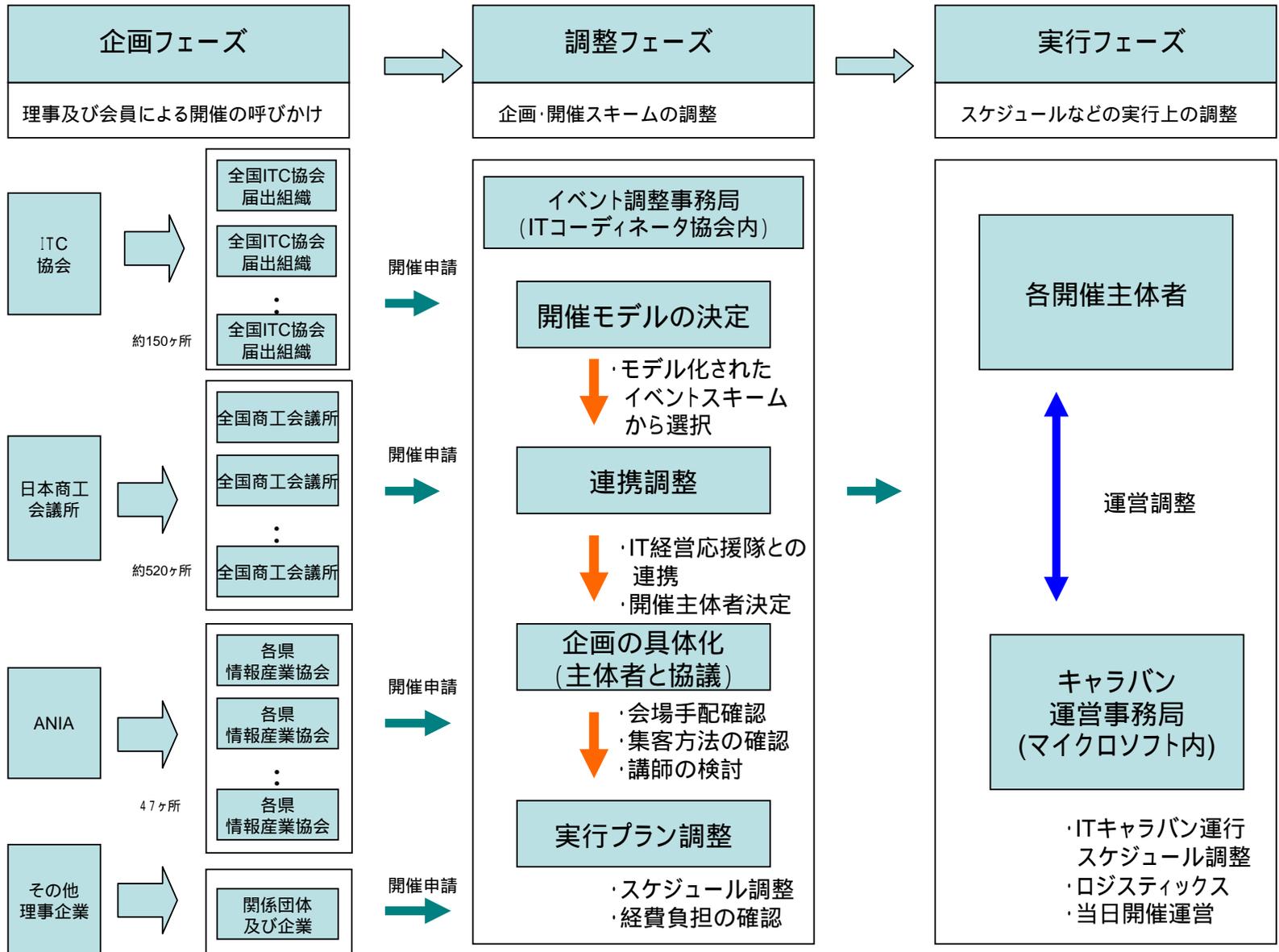
実践セミナー



相談会 / 交流会



イベント開催スキーム



キャラバンコンテンツのモデル化

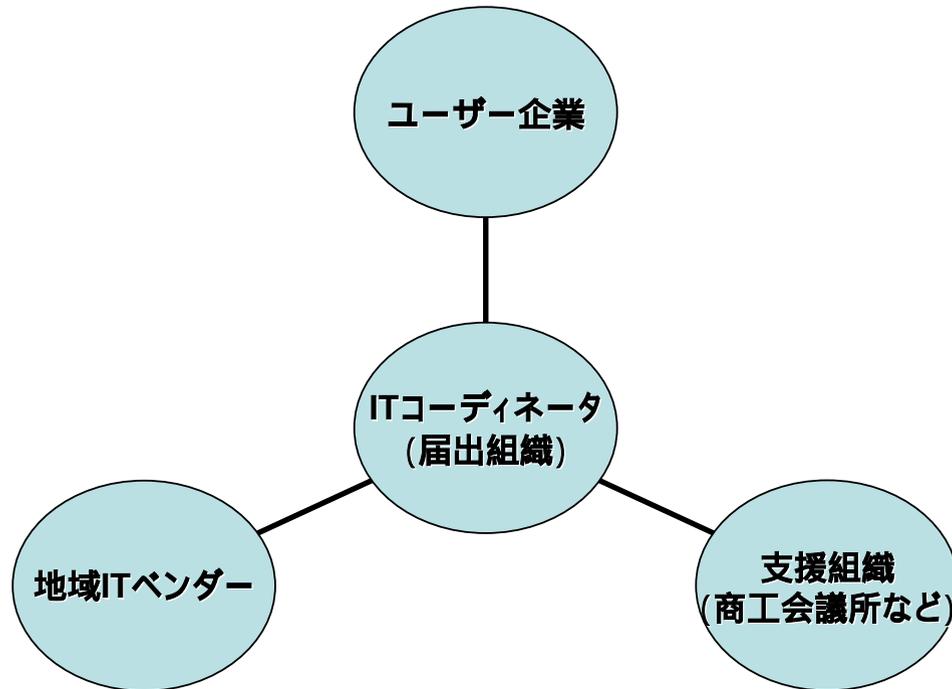
IT経営モデル	再チャレンジモデル	ブロードバンド教育モデル	電子自治体モデル
経営者向け IT経営実践講座	社会人・ニート向け ビジネスIT活用 講座	IT/ブロードバンド 活用授業 講座	自治体・公共団体 職員向け ICT活用講座
一般社員向け EC実践講座	主婦・高齢者向け ホームIT活用 講座	教務における IT活用講座	地方公共団体・企業 ICT利活用事例紹介 講座
体験デモ： 最新ITソリューション 体験	体験デモ： 最新ITソリューション 体験	体験デモ： 最新ITソリューション 体験	体験デモ： 最新ITソリューション 体験
意見交換会・交流会 (Option)	意見交換会・交流会 (Option)	意見交換会・交流会 (Option)	意見交換会・交流会 (Option)
e-learning、 ネット試験の体験 (Option)	e-learning、 ネット試験の体験 (Option)	交流授業の体験 (Option)	
対象 中小企業 経営者 一般社員	一般社会人 ニート/フリーター 主婦 高齢者 障害者	教職員 学校長 指導主事 教育委員会	自治体・公共団体職員

*すべてのモデルに、情報モラル・知的財産保護・セキュリティのコンテンツを含む。

*ビジネス講座/自治体向け講座には、電子申請/電子申告/電子納税、電子入札/電子納品のコンテンツを含む。

活動のコンセプト

☞ ICT利活用促進の啓発活動が
“地域に根ざし”、“継続される”基盤をつくる



継続活動のキッカケづくり:

- ☞ ITコーディネータと、地域の支援組織 / 地域ベンダー等との連携体制
- ☞ イベント開催ノウハウ、セミナー講師、セミナーコンテンツ、フリースポット、等

IT経営応援隊との連携モデル

🚌 IT経営応援隊、IT経営キャラバン隊、行橋商工会議所共催

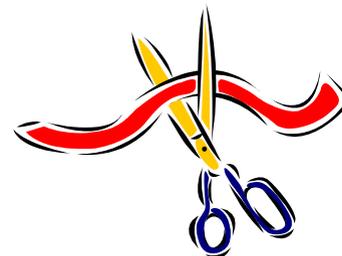
🚌 2006年12月13日(水)、於:福岡県行橋商工会議所

第1回ITキャラバン式次第

オープニング	
・10:20-10:35	来賓挨拶
第一部IT経営応援隊セミナー	
・10:35-10:55	IT経営とは？ (講師:経済産業省)
・10:55-11:55	IT経営百選:成功企業の事例紹介 (シャボン玉石鹸様/スーパーまるまつ様)
第二部IT経営キャラバン隊セミナー	
・13:00-13:30	ネット社会の到来と安全につきあう方法 (講師:IT経営キャラバン隊) * ネット社会の現状とITモラル、セキュリティ入門
・13:30-14:30	IT経営のススメ (講師:IT経営キャラバン隊) * ICTの活用による、儲かる企業経営の手法を伝授。
・14:30-15:20	ネットDE商いのススメ (講師:IT経営キャラバン隊) * 「読み、書き、パソコン」で社員力をUP !!
ご相談会	
・15:20-16:00	ITコーディネータが経営課題解決のお手伝いをします。
ICT体験コーナー	
・10:30-16:00	最新ICT機器ソリューション体験コーナー

同日開催:
IT経営キャラバン隊出陣式
商工会議所フリースポット開設式

山本経済産業副大臣ご出席決定!



運行スケジュール

- 1～3月 = 関東、甲信、静岡
- 4月 = 九州、沖縄
- 5～6月 = 中国、四国、近畿
- 7月 = 中部、北陸
- 8月 = 北海道
- 9月 = 東北、信越
- 10～12月 = 関東及び全国



- 12月13日 = 行橋商工会議所・出陣式
- 12月14・15日 = 福岡IT経営応援隊事業
- 12月21日 = 日本商工会議所
- 12月23日 = 石川県産業創出支援機構

- 1月18日 = 横須賀商工会議所
- 1月26日 = 関東IT経営応援隊(茨城)
- 1月30日 = 関東IT経営応援隊(さいたま)

- 2月2日 = 熊本県庁
- 2月6日 = 関東IT経営応援隊(新潟)
- 2月17日 = 関東IT経営応援隊(東京)

設立趣意

- ☐ 少子高齢化社会が進展するわが国が、今後とも安定的な経済成長を成し遂げるためには、成長に貢献するイノベーションの創造が不可欠であります。このため、e-Japan計画、e-Japan計画 によって整備された世界最高水準の高速インターネット基盤を戦略的に活用し、生産性を大幅に向上させていくことが求められています。
- ☐ IT新改革戦略ではユビキタス社会の実現が謳われていますが、これからはビジネスや生活、教育、医療など社会のいたるところでICTが実際に活用されていく段階に入りました。正に“基盤整備”から“実践・活用”の時代の到来といえます。
- ☐ 成長の原動力となる経済面をみても、中小企業を含む全ての層の企業がツールとしてのICTの利活用を促進させることはもとより、更なる人的資産のスキル面での強化が重要であると指摘されています。
- ☐ また、国際競争の激化の中で、不幸にして新しいビジネスモデル創出へのチャレンジが失敗したとしても、その失敗を許容してくれる社会環境が整備されれば、何度でもチャレンジしようとする新規ビジネス創出に対する意欲は衰えることはありません。

- ⊞ 安倍新政権は、活力に満ちたオープンな経済社会を構築するため、「誰もがチャレンジ可能な社会の創生」という基本方針を打ち出しました。正に時宜を得たものであり、この実現こそがわが国の安定的な成長の源泉であるといっても過言ではありません。
- ⊞ この目標の達成のためには、官民の更なる強固な連携により、産業基盤の強化のためにビジネスモデルの転換への提案活動や、ICTの利活用の促進活動、及びそれに関わる人材育成活動を一層推進していく必要があります。
- ⊞ こうした活動は全国各地において展開され、その活動が地域に定着し継続されてこそ初めて目標を実現できるものであります。そこでICTの利活用や情報教育、人材育成等に寄与してきた関係機関・団体・企業を中心として有志を募り、それぞれが属する分野の知識、知見を総合し、社会に貢献するため「IT経営キャラバン隊」を設立するものです。